

令和6年度 年間行事予定

4月 8日 (月)	花まつり
20日 (土)	★親子遠足(幼児組)
5月 11日 (土)	★保育参観 ★ひまわり会総会 ◎小学新一年生交流会
6月 8日 (土)	★◎運動会
9日 (日)	★◎運動会(予備日)
7月 5日 (金)	七夕会
8月 3日 (土)	★◎東雲夏まつり
9月 (未定)	◎みみょう敬老会
9月 13日 (金)～ 14日(土)	一泊保育(5歳児)
9月 21日 (土)	★保育参観・試食会
10月 19日 (土)	★◎東雲みみょうフェスティバル
11月 12日 (火)	七五三パーティー
16日 (土)	★お楽しみ会(3歳児)
12月 6日 (金)	成道会(じょうどうえ)
14日 (土)	★生活発表会(4・5歳児)
20日 (金)	クリスマス会
25日 (水)	☆餅つき
1月 16日 (木)	人形劇観劇
25日 (土)	★保育参観・講演会
2月 3日 (月)	豆まき
2月 中旬	☆ひなまつりお茶会(5歳児)
3月 3日 (月)	ひなまつり誕生会
18日 (火)	新入園説明会
22日 (土)	★卒園式(5歳児)

・毎月の行事は、誕生会・避難訓練・身体計測です。
 ・下線二重線★印は、保護者も参加する行事ですので、ご参加お願いいたします。
 ・☆印は祖父母参加行事です。
 (対象は、第二みみょう幼児組の祖父母です)
 ・◎印は地域参加行事です。
 ※詳しくは、毎月の行事予定表で、その都度お知らせいたします。

「感謝と思いやりのある自主的な行動のとれる子に」

お子さんのご入園、ご進級おめでとうございます。
 新入園児はもちろんのこと進級児にとっては、しばらくは緊張の毎日になるものと思われます。園では、一人ひとりの気持ちに寄り添いながらあたたかく見守ってまいります。

さて、新年度にあたり、「みみょう」の保育理念・方針をご理解いただくため、「みみょう(微妙)」の名の由来を説明します。

「仏説阿弥陀経」の中に、阿弥陀さまのおられる極楽浄土の蓮池の蓮の花の咲く様子をあらわして、「青色(しょうしき)青光(しょうこう)、黄色(おうしき)黄光(おうこう)、赤色(しゃくしき)赤光(しゃっこう)、白色(びやくしき)白光(びゃっこう)、微妙(みみょう)香(こう)潔(けつ)」という節があります。その意味は、青い花は青く光り、黄色い花は黄色く光り、赤い花は赤く、白い花は白く、それぞれが自分の色で光り輝いて、何ともいえないほど素晴らしいということです。「みみょう」という園名には、一人ひとりの子が、それぞれ持っている自分の個性を發揮して輝いてほしいという願いが込められています。

子どもが自分らしくいきいきと光り輝いて育っていくためには、いかに子どもを取り巻く大人たちが、子どもに関心を持ち、しっかりとかわり、しっかりと話を聞いてあげているかということに尽きると思います。「三つ子の魂百まで」と言いますが、特に3歳までは応答的なかわり(子どもの要求に応じて気持ちを受け止め、言葉を代弁し、同じことを満足するまで繰り返す)が大切となります。

また、昨今、グローバル化の進展や技術革新等により、社会構造や雇用環境が大きく変化する中、多様性と新たな価値を生み出していくことが求められています。そこで、「子どもを主体とした協同的な学び」がさらに重要視されるようになってきました。子どもが主体的、能動的に遊び込む中で人とかかわりや対話を通して学ぶことを促すという考え方で、目標に向かって粘り強く頑張る力、人と上手にかかわる力、感情をコントロールする力といった“非認知能力”を総合的に高めることをねらいとしています。

“非認知能力”を育むためには、0歳からその子のあるがままを「愛し」、心から「ほめて」、そして「認

めて」あげることです。そして、応答的で丁寧なかわりが「自己肯定感(自分は大切な存在だと無条件で感じる心の感覚)」を育み、五感を通して身体で感じる意欲や探求心を高めていきます。さらに興味ある様々なことに粘り強く挑戦し、できなかったことができるという達成感を味わう経験の積み重ねが、“非認知能力”そして“生きる力”につながると考えています。

そうした考えのもと、みみょうでは、①子ども主体の保育、②非認知能力を高める保育、③自己肯定感を育む保育、という3つの柱を掲げて保育を実践しています。これらを実践していくためには、0歳から応答的で丁寧なかわりを重視することはもちろんですが、学びに向かう力、言い換えれば、様々なことやものに興味を持ち、集中し、持続し、挑戦しようとする意欲を、遊びを通して身につけていくようにしていくことが大切です。そのことが、園名などにもあるように、一人ひとりの子が、それぞれ持っている自分の個性を發揮してひかり輝く保育につながっていくと考えます。

しかし、子どもの主体性は、園内での様々なあそびや経験だけでは十分に育ちません。主体性を育む一番の鍵はご家庭にあります。ご家庭内では「あれしなさい、こうしなさい」とつい大人が指示を出してしまうことも多いのではないかと思います。その場合指示がないと動けない子に育ってしまう可能性があります。そうならないためにも、子どもから「これはどうしたらいいの?」と聞かれたら、「あなたはどう思うの?」と聞き返すことが大切です。その積み重ねが、自分なりの考えをもって行動できるように少しずつ変わっていきます。また、指示することが多いと、考えを一方向的に伝えることにもなり、例え間違えがあったとしても、自分で考えさせるという時間も必要だと思います。そして、難しいことはヒントをあげたり、二択などの選択制にしてあげてもいいと思っています。その積み重ねが、主体性を育むことにつながっていきます。

本年度も、毎日が「子ども中心の保育」であり、「楽しい保育」となるよう心掛けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

理事長

4月 行事予定

1月	保育準備期間
2火	保育準備期間
3水	保育準備期間
4木	頭髪検査
5金	
6土	
7日	
8月	花まつり
9火	
10水	
11木	
12金	
13土	
14日	
15月	
16火	身体計測
17水	
18木	
19金	避難訓練・誕生会
20土	第二みみょう幼児親子遠足
21日	
22月	
23火	
24水	
25木	
26金	
27土	
28日	
29月	昭和の日
30火	

5月11日(土)に保育参観・保護者会総会など予定しています。

